

気管支肺カルチノイド手術症例の臨床病理像

研究責任者) 国立がん研究センター東病院 呼吸器外科
科長 坪井正博

1996年1月から2014年12月にかけて、国立がん研究センター東病院で手術施行され気管支肺カルチノイドと診断された40人のカルテのデータを用いて画像上の特徴や、組織学的特徴、また手術後の長期の成績を研究します。

研究の概要：

わが国において、肺がんは死亡数をもっとも多いがんです。肺がんの中でも気管支肺カルチノイドは肺癌全体の約1%未満を占める、比較的稀な組織型です。症例数が少ない疾患であるため、本邦において、気管支肺カルチノイドに関する疾患の特徴や長期的な治療成績に関するまとまったデータが少ないのが現状です。

今回の研究では、国立がん研究センター東病院における、気管支肺カルチノイドに対して手術を受けた患者さんのデータを用いて、検査所見を含む患者さんの特徴および病理学的特徴、長期的な成績について明らかにすることを目的としています。

研究の意義：

気管支肺カルチノイドは、肺癌の中でも比較的悪性度の低い疾患として知られていますが、少数例ではあるものの、根治手術を受けた後に再発する症例もあります。また、術後の補助療法や再発した後の治療方法についても定まったものがないのが現状です。

今回、国立がん研究センター東病院において、気管支肺カルチノイドのデータを調べることは、再発を来す肺カルチノイドの特徴を把握し、術後補助療法や再発後の治療方法の検討に貢献につながります。

目的：

気管支肺カルチノイドの根治手術を受けた患者さんのデータを使用して、患者さんの特徴（年齢、性別、基礎疾患の有無、喫煙歴など）、CT画像上の特徴、病理学的特徴、および術後の長期的な成績を明らかにすることを目的としています。

方法：

1996年1月から2014年12月までに完全切除された原発性気管支肺カルチノイド40人を対象としています。対象となった患者さんの診療録から、その臨床的特徴に関する必要な情報を収集しますが、情報収集の作業に当たる人員は医師をはじめとする医療知識のあ

2016年6月14日 第1版
2016年8月6日 第2版
2016年8月22日 第3版

る研究者です。

個人情報保護に関する配慮：

閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は、研究登録番号を使って管理するため、患者さんの氏名などの個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 呼吸器外科 仲宗根 尚子

FAX 04-7131-4724 / TEL 04-7133-1111